

平成20年度事業報告書

1 事業の概要

平成20年度は、創設以来最大規模のドラスティックな改革に取り組んだ年度である。平成21年度開設を目途として、武蔵工業大学に東横学園女子短期大学を統合し、新たに先進性の高い四年制の学部(都市生活学部・人間科学部)として、開設を決定、文部科学省の認可を得た。又この統合に伴い、「常に魅力ある教育システムを構築する」ことを目的として、本法人が設置する大学から幼稚園までの全ての学校について新校名「東京都市大学」を冠した名称に変更することを決定、届出を行なった。こうした中、「東京都市大学グループ」を形成し、学園の総合力を発揮する「都市大ブランド」を確立し、厳しい学校間競争を勝ち抜くため、高大連携等法人内における学校間の連携強化を重要な取組みのひとつとして捉え、高大連携推進委員会を組織し、その具体的内容について検討した。

武蔵工業大学(東京都市大学)では、工学部に「原子力安全工学科」を増設、既存の「環境エネルギー工学科」を「エネルギー化学科」に名称変更するなど、学部学科の再編成を断行した。

広報活動においては、「都市大グループ」の誕生に伴う認知向上及び理解促進に向けブランド作りの基盤となる広報活動を重点的に行った。人事面においては、新学部の開設に向けての具体的な業務を推進するため、新学部の教員を新たに採用するとともに、「新学部開設準備室」を等々力キャンパスに設置し、システム統合等の環境整備を行った。また、同キャンパスにおいては、学生サービス向上を目的とした「CS活動」を行い、新たなモデルキャンパス作りを推進し、更に質の高いサポート体制の構築に取り組んでいる。

財政面においては、教育環境の充実と老朽施設設備の更新を続けながら一層の経費節減を図っているところであるが、本年度消費収支差額は2,673百万円の支出超過となった。これは、武蔵工業大学世田谷キャンパス2号館建設工事、小学校新築校舎完成、借用校地の買収等により1,893百万円の基本金組入を行なったことが主な要因である。

広報

「都市大グループ」誕生に伴う大学及び高校以下の名称変更及びグループ全体の広報活動の充実・積極的展開を目的として、五島育英会広報委員会を中核とした広報活動を行った。

募集広報

各学校の名称変更及び大学の新学部設置に伴い、その募集広報等が円滑かつ効果的に展開できるよう、募集広報活動を支援するため、Web等各種媒体を積極的に活用した。

一般広報

各学校の名称変更及び「都市大グループ」誕生に伴い、以下の広報活動を展開した。

「都市大グループ」の誕生に伴い認知度向上および理解促進を目的とした広告宣伝を継続的に行った。

グループ全体の教育理念や目標、ブランドビジョンを明確にし、積極的に発信した。

新シンボルマーク及びロゴタイプを含むV I (ビジュアルアイデンティティ)の確立とガイドラインを作成し、グループ全体のイメージの統一及び効果的な広報活動を行った。

「都市大ブランド」形成の中核となる教育研究や産学連携等の成果を、積極的にパブリシティを活用した。

社会動向や各学校の評価を収集・分析のため、定常的な情報収集を行った。

アニュアルレポート(年次事業報告書)を作成し、ステークホルダーへグループ全体の年間の取り組みを報告した。

東京都市大学グループ誕生に伴う活動

設置学校の校章、校旗及び学園歌の作成並びに東京都市大学グループ誕生記念式典及び記念コンサートを挙行了した。

内部広報

グループ全体の改革に伴う情報や価値観の共有へ向けて、法人ホームページ等を利用し、情報の発信に努めた。

人事

[職員配置]

平成20年度の職員配置については、統合により、新学部の教員(都市生活学部10名、人間科学部3名)を新たに採用し、等々力キャンパスに「新学部開設準備室」を設置した。

併せて同キャンパスでは、全職員が質の高いサポート体制の構築のため、学生サービス向上を目的とした「CS活動」に取り組み、新たなモデルキャンパス作りを推進した。

[新人事制度の実施](目標管理評価制度)

平成19年度より事務管理職を対象に「目標管理評価制度」を実施し、本年度は評価に基づき処遇等へ反映させた。又、事務一般職に対しても本年度より同様の制度を取り入れた。この制度は、人材育成の強化に向けて求められる能力発揮のあり方、目標達成に向けて、職員の意識改革、質的向上を図るものである。

財務

財務活動において学校法人会計基準に加えキャッシュフロー計算書、損益計算書を作成し、業績評価、投資評価に活用し、財務の安全性と事業運営の健全性を向上させるべく取り組んでいる。

平成20年度は、都市大学グループ誕生及び新学部設置関係の費用、小学校校舎建設、

世田谷2号館建設など施設設備関係支出5、814百万円他、校名変更の広告費など創立以来の改革施策実行を見込んだ予算を執行するにあたり、管理経費を中心に見直しを徹底したことにより、教育研究活動キャッシュフローで対予算837百万円の減少となった。しかしながら、予定していた資産売却を延期したことにより帰属収支差額は779百万円の支出超過となった。

施設設備計画の実施状況

平成20年度に決定された事業計画の実施状況は、次のとおりである。

用地買収

東京都市大学世田谷キャンパス借用校地の買収

東京都市大学世田谷キャンパス内借用校地の内、下記土地について買収した。

- ・地番 東京都世田谷区玉堤1丁目2428番
- ・地積 852㎡(258坪)
- ・地目 畑
- ・相手方 豊田房江
- ・引渡日 平成20年7月1日

施設・設備

東京都市大学(世田谷キャンパス)

ア 新2号館新築工事(継続)

東京都市大学世田谷キャンパスの整備計画の一環として進めている。

新2号館新築工事については4月21日に3・4階部分の仮引渡を受け、6月竣工予定である。

イ 10号館屋上手摺工事

10号館屋上の手摺及び躯体の補修工事を実施した。

- ・工事請負業者 東急リニューアル(株)
- ・工期 着工 平成20年8月18日
完了 平成20年9月20日

ウ 18号館トイレ・シャワー室改修工事

18号館のトイレ及びシャワー室の設備改修工事を実施した。

- ・工事請負業者 東急建設(株)
- ・工期 着工 平成20年8月7日
完了 平成20年9月20日

東京都市大学(横浜キャンパス)

3号館(講義・研究棟)外壁改修工事

3号館(講義・研究棟)の外壁タイル面劣化調査及び窓廻り・外壁目地等のシーリング打替等の改修工事を実施した。

- ・ 工事請負業者 (株)東急コミュニティ
- ・ 工 期 着 工 平成 20 年 8 月 4 日
完 了 平成 20 年 9 月 20 日

東京都市大学(新学部関係)

東京都市大学都市生活学部・人間科学部の開設準備のため、下記の通り学部を設置する東横学園女子短期大学の建物及び設備の整備を実施した。主たる内容は下記の通り。

ア 改修工事

1・2・3号館改修工事

新学部開設準備のため、教室・研究室・学生ホール等の内装工事を実施した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成 20 年 7 月 22 日
完 了 平成 21 年 3 月 31 日

1・2・3号館LAN配線工事

新学部開設準備のため、各建物内のLAN配線工事を実施した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成 20 年 10 月 20 日
完 了 平成 21 年 3 月 18 日

1・2・3号館監視カメラ設置工事

不審者対策として館内各所に監視カメラを設置した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成 20 年 12 月 1 日
完 了 平成 21 年 3 月 26 日

1・2・3号館入退館システム設置工事

各建物の夜間における入退館を管理するため、ICカード対応電子錠設備を設置した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成 20 年 12 月 1 日
完 了 平成 21 年 3 月 26 日

3号館1階事務室改修工事

3号館1階事務室エリアのリニューアル工事を実施した。

- ・ 工事請負業者 (株)東急コミュニティ
- ・ 工 期 着 工 平成20年8月11日
完 了 平成20年9月30日

3号館地下1階改修工事

3号館地下1階部室エリアを改修し、事務室1室を設置した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成20年8月11日
完 了 平成20年9月30日

キャンパス内各所追加改修工事

3号館中庭部分に部室1室と多目的トイレを増設した他、3号館内トイレの改修工事等を実施した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工 期 着 工 平成21年3月25日
完 了 平成21年3月31日

イ 備品等の購入

2号館大講義室(213・226教室)用固定机・椅子

- ・ 納入業者 (株)東急百貨店

各館教室用AV機器

- ・ 納入業者 三友(株)

人間科学部用LLAMM教室設備

- ・ 納入業者 (株)東急コンピュータシステム

館内ネットワーク機器(各種サーバ・スイッチ等)

- ・ 納入業者 富士テレコム(株)

一般教室用什器

- ・ 納入業者 愛知(株)

3号館学生食堂厨房機器

- ・ 納入業者 ホシザキ北信越(株)

東京都市大学等々力中学校・高等学校

ア 第一校舎耐震補強工事

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 実施金額 実績額 166,215 千円
- ・ 工期 着工 平成 20 年 7 月 19 日
完了 平成 21 年 3 月 18 日

本件については文部科学省及び東京都より補助を受けた。

イ 第一校舎内外装改修工事

耐震補強工事に付随し、実施した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工期 着工 平成 20 年 8 月 7 日
完了 平成 21 年 3 月 18 日

東京都市大学塩尻高等学校

ア 本館・新館耐震補強工事

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工期 着工 平成 20 年 7 月 15 日
完了 平成 21 年 3 月 18 日

本件については文部科学省より補助を受けた。

交 付 額 36,191 千円

イ 耐震補強工事に伴う内装工事

耐震補強工事に付随し、事務室等の改修工事を実施した。

- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 工期 着工 平成 20 年 8 月 7 日
完了 平成 21 年 3 月 18 日

東京都市大学付属小学校

ア 新校舎新築工事

東京都市大学付属小学校の新校舎新築及び特別教室棟の増改築工事について、平成 21 年 3 月 31 日に竣工、引渡を受けた。

- ・ 建物の概要 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 1 階 地上 3 階建
延床面積 5,906 m²

階 別	面 積	内 容
地下 1 階	96 m ²	機械室等
1 階	2,816 m ²	事務室、校長室、教員室、体育館、 屋内プール等
2 階	1,613 m ²	普通教室、図書メディア室、理科室、 家庭科室等
3 階	1,381 m ²	普通教室、多目的ホール、音楽室、 図工室等
合 計	5,906 m ²	

- ・ 設 計 (株)東急設計コンサルタント
- ・ 工事請負業者 東急建設(株)
- ・ 総 建 設 費 計画額 1,860,000 千円
- ・ 工 期 着 工 平成 19 年 7 月 31 日
完 了 平成 21 年 3 月 31 日

本件については文部科学省より補助を受けた。

文部科学省交付額 10,813 千円 (学校体育諸施設補助)

高大連携

高大連携委員会を組織し、東京都市大学グループの関係強化を図るため、具体的内容について検討・協議を行ない、下記項目について決定した。

1. 付属 3 高校の東京都市大学進学希望者原則全入制度
2. 平成 22 年度入試大綱
3. 大学のリメディアル教育
4. 高校での入学前準備教育
5. 東京都市大学への進路指導
6. 高大授業連携の実施

収益事業部門

1 不動産貸付業

防災備品の充実、及び自衛消防体制の見直しなどの施策を実施し、ビルの安全向上を図った。又、既存テナントの賃料を改定し、増収となった。

空調設備を中心とした施設改修計画業務について計画案を策定した。

2 東急自動車学校

再開発事業の進捗による周辺環境の変化に伴い、集客に多大の影響をもたらしたが大型車両の充実を図り、バス会社、警視庁等と大型教習契約を締結する等営業拡大に努めた。又世田谷区の都市計画公園事業の進展により、多摩市唐木田において土木工事を実施するとともに、同地において自動車教習事業移転のための校舎新築工事を行うことを決定した。

教学部門（各学校）

東京都市大学

1 教育活動への取組み

教育改善活動の活発化

組織的教育改善の検討を目的とし、「教育改善研究会」を開催、体制を準備。

優れた教育及び研究に対する顕彰制度を導入

JABEEの理念に基づく教育改善の推進（工学部）

新設された生体医工学科、原子力安全工学科の円滑な運営（工学部）

カリキュラムの充実と主コース履修の必修化（知識工学部）

主コース履修を卒業要件化、専門科目の必修選択別の見直し、科目内容充実。

事例研究の導入（知識工学部）

リメディア教育及びキャリア教育の充実（知識工学部）

国内外の地域に密着した実践的環境・情報教育の質的向上（環境情報学部）

サイバーキャンパス整備事業等。

現代GP研究活動（文部科学省採択）の円滑な推進（環境情報学部）

地域貢献と新しい学習環境のデザインについて成果。

演習科目（環境情報フィールド演習・コンピュータ関係演習等）の強化（環境情報学部）

2 重点目標への取組み

校名変更の对外広報活動を強化し、対前年27%増の志願者となった。

退学者・休学者対策等

転学部転学科制度を導入、入学から卒業までの継続的指導の為、学生情報の一元

化による学生支援カードのシステム構築の準備を進めた。

他大学との連携交流

- ・ 室蘭工業大学 外部(文部科学省)からの資金を獲得し、実効あるプログラムを遂行中。
- ・ 昭和大学 生体医工学科の実習を実施するため、大学病院の利用について連携を進めた。
- ・ 早稲田大学 大学院共同原子力専攻の設置に向けて準備を進めた。

高大連携 推薦入学制度の見直し 見学会・模擬授業の実施。

競争的研究資金の獲得 室蘭工業大学との連携において、文部科学省の「戦略的連携支援事業」に選定された。

東横学園女子短期大学

1 教育活動への取組み

資格取得支援体制の強化

ライフデザイン学科において現在実施している資格取得講座の継続的な整備充実を就職活動への一助とした。

就職・進路指導の強化

個人面談、就職講座、企業セミナー、四年制大学への編入学希望者への説明会等指導の一層強化を図った。しかしながらライフデザイン学科において、急激な景気後退による雇用状況の悪化で若干就職率等目標を下回った。

クラブ活動参加率の向上

参加への積極的な呼びかけを行なった結果、参加率は前年を上回った。

基礎学力の向上

国語表現力、英語力の他、学科のコアとなる科目を基礎学力アップの科目と位置づけ、学力向上を図った。

卒業延期者、退学者の減少対策

決め細やかな対処、指導により改善された。

マナーの向上に向けてオリエンテーション、授業等を通じて指導を行い、効果を上げた

2 重点目標への取組み

教育・研究の質的向上

非常勤講師担当科目を極力専任教員へ移行。少人数教育、授業方法の見直し、改善、教員の研究向上を行なった。

学生サービスの向上

今年度は特に学生サービスに重点を置き、個々の対応・支援を適切に行なった。事務局のCS活動をスタートさせ、学生対応の基本的な形を作り上げた。又四大化と連携した施設・設備の整備を行い、好評であった。

東京都市大学附属中学校・高等学校

1 教育活動への取組み

新体制(中高完全一貫体制)2年目として校内整備を進めながら円滑な学校運営と教育実践の展開

前期・中期のプログラムを完成、学校運営の課題と到達点を確認。

男子進学校としての社会的評価を確立するための教育・授業効果の向上、進学成果の拡大

授業アンケートを効果的に活用し、授業研究と併せ授業力が飛躍的に向上、進学実績で大きな成果を達成した。

新体制における新生活ルールを定め、道德教育・HR等を通して規律とマナー、自立心を育てた。

教育施設や情報機器の使用マニュアルの整備、有意義な活用

中高6カ年完全一貫体制の充実と成果に向け、計画的な教職員の補充

広報活動の改善・充実

広報部の新設、入試委員会の独立による広報・入試活動のパワー・アップ

2 重点目標への取組み

中高6カ年完全一貫体制のプログラムの完成に向けて諸課題の整備

新キャリア教育・中期修了論文等中期プログラムを検討、完成。

学力推進本部(設置2年目)初年度の成果と課題の継承、学力状況を分析、学力施策を効果的に推進した。

中期前半(中3)の習熟度別クラス編成の基準を設定。学習合宿の総括、中3分割授業、センター試験対策を検討した。

進路・進学指導の充実 センター模試の制度化、志望校別ガイダンス等の実施。

情報機器を活用した授業プログラムを創設

道德授業・集団行動等の場を活用して自他を尊重する自立心・自律心と国際理解を育てる

情報機器を活用した授業プログラムを創設、授業効果を向上

校内研修会の設定、外部研修の積極的参加による教育力量を向上

学校説明会、学校パンフレットの充実等により本校の広報活動を充実

東京都市大学等々力中学校・高等学校

1 教育活動への取組み

中学校 「基礎学力の定着と進学のための発展的学習の強化」

国語 漢検取得、外部団体主催コンクールへの積極的参加

実力テスト偏差値が昨年比2%上昇。

数学 数検の受験率及び合格率の向上、実力テストの得点率の向上

受験者数、合格率の向上、中位レベルの生徒の学力向上が顕著。

英語 英検取得、実力テスト偏差値の向上等

英検目標取得率は、ほぼ目標を達成。実力テストの偏差値は、やや目標値を下回る。

国・数・英以外の教科 実力テスト偏差値の向上等

実力テストの偏差値は、理・社ともに目標の50にわずかに及ばなかったが、中・上位層の上昇率は高くなった。

高等学校 普通コース「一人ひとりの学力の向上と大学合格実績の拡大」

英語留学コース「留学に耐えうる高い英語力の習得」

国語 漢検取得、模擬試験偏差値の向上

模擬試験の偏差値は目標値を上回る実績となった。

数学 数検の受験率及び合格率の向上、模擬試験の得点率の向上

数検の受験率・合格率の向上を達成。

英語

普通コース 英検取得率の目標達成

英語留学コース 英検、S L E Pともに順調な伸びを達成。

国・数・英以外の教科 模擬試験偏差値の向上等

模擬試験の偏差値は目標値を達成。

教科外活動

プレゼンテーション能力、自己開発能力、知性、教養・自主自立の力の養成等

2 重点目標への取組み

学力伸長のための教科指導における取組みと数値目標の完全達成への努力

専任教諭の評価は高く、努力がうかがえた。

家庭学習習慣の確立のための指導を行い、効果を上げた

学年指導・HR指導を充実

生徒指導・生活指導の徹底、学校目標である「女性としての品格」を高めるための具体的な指導。

部活動の活性化に向けての活動を強化

進路指導の充実と大学合格実績の拡大に向けての積極的取組み

入学定員確保に向けての広報活動への取組み

中・高とも昨年を上回る人数を確保

東京都市大学塩尻高等学校

1 教育活動への取組み

授業内容の充実及び中途退学防止への具体的取組みの実施

職員研修の積極的実施

遅刻対策・SHR, LHRの組織的取組み

家庭との連携強化等問題行動減少への具体的取組み

進路指導の取組み

ガイダンスの実施、特別講座の強化、就業体験等、多岐に亘り実施

生徒募集の取組み

特別入試を実施、224名が志願し、昨年比162名増(3.6倍)

武蔵工業大学との高大連携の発展、塾・予備校との連携強化

2 重点目標への取組み

武蔵工業大学への合格者を10名、就職率は100%を達成

特別入試等特色ある入試の実施

受験者増の実績となった。

武蔵工業大学との高大連携の活発化

武蔵工業大学による公開講座の開催、大学バスツアーの実施等

外部支援体制の強化

同窓会、企業、卒業生、PTA等との連携強化、本校支援ボランティアによる教育活動、PR活動を積極的に実施。

学科の履修内容や魅力について組織的なPR活動の展開

塩尻、松本市内の拠点校を中心に訪問回数の増、中学校、塾への進路講話の実施

東京都市大学付属小学校

1 教育活動への取組み

4 教科の学力の向上を達成

教科課程の見直しを実施

国語科授業の改変

読書感想文を書くことを主にした指導、6年生の習熟度別国語特訓を実施

交通安全、防犯安全の指導、災害時避難誘導訓練を実施、教員救護講習の実施

研究授業の活性化

「高い学力を育む効果的な指導法」の研究をテーマとして実施

研究紀要「まなび」の発刊 教科研究を中心にして刊行。

受験進学指導 偏差値50以上53%、内偏差値60以上18%を達成

2 重点目標への取組み

学習指導

算数オリジナル問題集を作成、国語特別進学指導を強化、国語（読書）年間指導を確立。

受験指導と進学・合格実績

偏差値60以上の合格者が大幅に増加

研究、研修活動

校内研究会5回、校外研修4回の実施、その他夏季等を利用し個別研究に参加
教科研究部を中心とし、研究授業を充実

広報委員会を中心として、ポスター、学校案内、学校説明会等広報活動を充実

東京都市大学二子幼稚園

1 教育活動への取組み

身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」を中心に取組む。教育課程に準じて実施

動植物や自然事象に親しむ環境を作る。

小鳥、虫の飼育、草花等の栽培、園庭、園外で既設の変化を知る活動を行った。

生活の中で様々なものに触れ、興味や関心を持つ。

様々な材質の材料又は砂・土等を使い、物に触れて感覚を刺激、楽しむことを学ばせた。

物の形、大小、長短、数に興味を持たせるための意識付けを遊具、自然物を通して実施した。又絵本、図鑑を使い、ものの知識や文字に興味関心を引き出すきっかけとした。

2 重点目標への取組み

身近な動植物に親しみ、生命の尊さに気づき、いたわり、大切にする

動植物の生育の状況を観察し、驚きや楽しさを体験、生死の確認等を行なった

身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりする

自然の事象に気づき、生活の中で様々なものに触れ、興味や関心を持たせた

季節に適した教材を検討し、学期ごとに活動に必要な教材を選定した

色々な素材に触れ、性質の違い等を知り、工夫して遊びや教材に取り入れた

日本古来の伝統行事に親しむ

七夕飾り、十五夜のお団子づくり、節分等。

保護者等へ本園の環境の良さを、あらゆる機会にアピールした。

東急自動車整備専門学校

1 教育活動への取組み

豊かな人間性の涵養

学生、教職員全員による学期末毎の地域清掃活動で、ボランティア精神を養い、人間性の向上に努めた。

中途退学者を5%以下に抑える

学生との面談時間を増加、保護者との連絡を密にした防止策を講じ、3名、4.1%に抑えた。

マナー教育の充実を図る。

ビジネスマナー研修を実施、社会人としての資質の向上に努めた。

2 重点目標への取組み

自動車整備士試験全員合格

能力別クラス編成等対策に万全を期した、(平成19年度合格率89.1%)

自動車整備士に必要な諸資格の取得(危険物取扱者、ガス溶接技能等)

資格取得は全て修了した。

就職希望者の全員就職

就職希望者の就職率100%を達成した。

以 上